

1. 件名：福島第一原子力発電所における 1/2 号機排気筒解体工事に係る面談
2. 日時：令和元年 12 月 11 日（水）13 時 35 分～14 時 45 分
3. 場所：原子力規制庁 9 階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官、田上係員

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当 2 名

5. 要旨

東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所 1/2 号機排気筒の 4 ブロック目の解体において筒身切断時に発生したチップソーの刃の噛み込み事象について、資料に基づき説明があった。

➤ 事象の概要

✓令和元年 11 月 27 日に、旋回切りで筒身を切断していたときに、先行して実施した縦切りの切断線とつながる少し手前で、チップソーの刃が筒身に噛み込み抜けなくなった。

➤ 事象の原因

✓筒身が変形し、切断線の上下で筒身が大きくずれた。

✓当該部分を切断しているときにチップソーの刃の進入深さが 50mm と深く、チップソーが抜けにくかった。

✓今回は、鉄塔の主柱を 4 本把持した状態で筒身の切断作業を実施しており、クレーンで解体装置を上を引張っても、噛み込みが発生した部分に上向きの力が伝わらず噛み込みが解消しなかった。

➤ 再発防止対策

✓切断線がつながる箇所は筒身の変形が発生しやすいため、旋回切りではなく、押し切りにより切断する。その際、チップソーの刃の進入深さを 20mm と浅くする。

✓上記の切断手順の変更は手順書に反映した。

➤ 今後のスケジュール

✓令和元年 12 月 12 日より 5 ブロック目の解体を開始する予定

原子力規制庁は、上記の説明内容を確認するとともに、以下の内容の対応を求めた。

➤ 地上からの高さが低くなると空間線量率が高くなり被ばく線量も大きくなるため、今後、上空で人力による作業を実施することが起こらないように慎重に作業を進めること。

➤ 引き続き、作業の進捗状況を定期的に報告すること。

6. その他

・資料：

➤ 福島第一原子力発電所 1/2 号機排気筒解体工事 1～4 ブロック作業の振り返りについて